

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-296486

(43)Date of publication of application : 29.10.1999

(51)Int.Cl.

G06F 15/02

G06F 17/60

(21)Application number : 10-097620

(71)Applicant : HITACHI LTD

(22)Date of filing : 09.04.1998

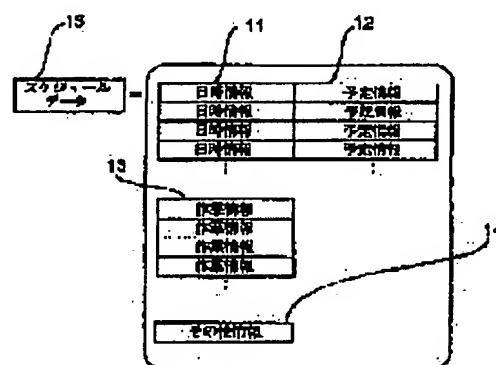
(72)Inventor : YOSHIMARU TAKUSHI
UTSUKI SHINGO

(54) SCHEDULE GENERATION SUPPORTING METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce the burden of a user for generating a schedule by previously generating/recording the schedule as the model of the schedule by means of a routine form schedule information, adjusting only information of date/time against main schedule information of the schedule of the model and collectively making all the schedules.

SOLUTION: A main schedule is previously generated/recorded as the model of the schedule by a series of routine form schedule information. At the time of generating the schedule, only information of date/time against main schedule information of the schedule of the model is adjusted. Thus, all the schedules are collectively made. Various information which are frequently used as schedule information are contained in schedule data 15 stored in the storage device of an information processor as work information 13 being the mold of schedule information, for example. When a user designates work information 13 as the schedule of specified date/time contained in date/time information 11, CPU records the copy of work information 13 as schedule information 12 of the date/time.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

10.03.2005

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the
examiner's decision of rejection or application
converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of
rejection][Date of requesting appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-296486

(43) 公開日 平成11年(1999)10月29日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 6 F 15/02
17/60

識別記号

3 5 5

F I

G 0 6 F 15/02
15/21

3 5 5 A
L

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 23 頁)

(21) 出願番号 特願平10-97620

(22) 出願日 平成10年(1998) 4 月 9 日

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所
東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地

(72) 発明者 吉丸 卓志

東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地
株式会社日立製作所デザイン研究所内

(72) 発明者 宇津木 慎吾

東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地
株式会社日立製作所デザイン研究所内

(74) 代理人 弁理士 武 顕次郎

(54) 【発明の名称】 スケジュール作成支援方法

(57) 【要約】

【課題】 一連の定型的な予定をスケジュールする作業を、日時情報のみを調整した上で、全ての予定を一括してスケジュールし、予定として登録する。

【解決手段】 一連の定型的な予定を作成するために実施される複数の事項の、実施内容、実施順序、実施の時間間隔を、実施の際に使用するデータと共に予め雛形として記録しておく。そして、実際の予定としてスケジュールを作成登録する際に、雛形の日時の情報のみを調整した上で、スケジュールすべき全ての事項を一括して予定として登録する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の予定からなるスケジュールを作成し登録するスケジュール作成支援方法において、主たる予定及びこの主たる予定に付随して生じる予定を、一連の定型的な予定情報によるスケジュールの雛形として予め作成して記録しておき、スケジュールの作成に際して、前記雛形のスケジュールの主たる予定情報に対する日時情報のみを調整することにより、全ての予定を一括してスケジュールすることを特徴とするスケジュール作成支援方法。

【請求項2】 スケジュールの作成に際して、スケジュールされた各予定に、その予定に付随する関連情報を付加して登録可能であることを特徴とする請求項1記載のスケジュール作成支援方法。

【請求項3】 スケジュールの作成に際して、スケジュールされた各予定の日時を変更して登録可能であることを特徴とする請求項1または2記載のスケジュール作成支援方法。

【請求項4】 スケジュールの作成に際して、スケジュールされた各予定が休業日に当る場合、その予定を休業日以外の日時に自動的に変更することを特徴とする請求項1または2記載のスケジュール作成支援方法。

【請求項5】 前記スケジュールの雛形は、ユーザにより予め作成されて登録可能であり、また、登録後に削除、変更することが可能であることを特徴とする請求項1ないし4のうちいずれか1記載のスケジュール作成支援方法。

【請求項6】 前記スケジュールの雛形は、主たる予定及びこの主たる予定に付随して生じる予定の実施内容、実施順序、実施の時間間隔、及び、実施の際に使用するデータを含んで構成されることを特徴とする請求項1ないし5のうちいずれか1記載のスケジュール作成支援方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、スケジュール作成支援方法に係り、特に、スケジュールソフトウェアを使用して予定の入力や削除を手軽に行う方法をユーザに提供することができるスケジュール作成支援方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、電子手帳等に乗せられているスケジュールソフトウェアを使用するスケジュールの作成登録は、日時と、予定事項とを1件ずつ入力することにより行うものであった。このため、この方法は、ある予定の実施に関連して実施しなければならない他の予定がある場合にも、それぞれを別々のスケジュールとして個々に登録を行う必要のあるものであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】一般に、ある予定を実

施しようとする、その主たる予定に関連して実施しなければならない他の予定が生じてくる。例えば、主たる予定が「出張」である場合、その前に行わなければならない関連する予定として、「上司から出張の許可を得る」、「乗り物等の切符の手配、受領」、「出張旅費の仮払いの手続き、金員の受領」、「主張先で必要な書類の作成」等が生じ、また、出張の終了後に行わなければならない関連する予定として、例えば、「旅費の精算」、「報告書の作成」等が生じる。これらの予定は、多くの場合、一連の定型的な予定として、その実施順序、実施の時間間隔が予め定められているものである。

【0004】前述した従来技術は、前述のような一連の定型的な予定をスケジュールする場合にも、これらの予定のそれぞれを、個別の予定として個々にスケジュールして登録を行っていかなければならないものであり、ユーザの操作回数が多く、操作のための負担が多いという問題点を生じさせていた。

【0005】本発明の目的は、前記従来技術の問題点を解決し、一連の定型的な予定をスケジュールする作業を、日時情報のみを調整した上で、全ての予定を一括してスケジュールし、予定として登録できるようにしたスケジュール作成支援方法を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明によれば前記目的は、複数の予定からなるスケジュールを作成し登録するスケジュール作成支援方法において、主たる予定及びこの主たる予定に付随して生じる予定を、一連の定型的な予定情報によるスケジュールの雛形として予め作成して記録しておき、スケジュールの作成に際して、前記雛形のスケジュールの主たる予定情報に対する日時情報のみを調整することにより、全ての予定を一括してスケジュールすることにより達成される。

【0007】また、前記目的は、スケジュールの作成に際して、スケジュールされた各予定に、その予定に付随する関連情報を付加して登録可能とすることにより、スケジュールされた各予定の日時を変更して登録可能とすることにより、または、スケジュールされた各予定が休業日に当る場合、その予定を休業日以外の日時に自動的に変更することにより達成される。

【0008】また、前記目的は、前記スケジュールの雛形が、ユーザにより予め作成されて登録可能であり、また、登録後に削除、変更することが可能であることにより、また、前記スケジュールの雛形が、主たる予定及びこの主たる予定に付随して生じる予定の実施内容、実施順序、実施の時間間隔、及び、実施の際に使用するデータを含んで構成されることにより達成される。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、本発明によるスケジュール作成支援方法の一実施形態を図面により詳細に説明する。

【0010】図1は本発明の一実施形態によるスケジュール作成の支援を行う情報処理装置の構成を示すブロック図、図2は記憶装置内に格納されているスケジュールデータの構成を説明する図、図3はスケジュールを表示させた場合の表示画面の例を説明する図、図4は作業情報の追加作成、作業情報の内容変更の場合の表示画面の例を説明する図である。図1において、1はCPU、2は表示部、3は入力部、4はキーボード、5はマウス、6、9は記憶装置、7は通信装置、8はサーバ、10は情報処理装置である。

【0011】本発明の一実施形態によるスケジュール作成の支援を行う情報処理装置10は、市販のパソコン、携帯端末(PDA)等でよく、図1に示すように、CPU1と、CPU1に接続された記憶装置6と、表示部2と、ユーザからの入力操作を受け付ける入力部3とにより構成される。入力部3には、入力機器としてキーボード4とマウス5とが接続されている。入力機器は、キーボード4、マウス5に限らず他の入力装置であってよい。表示部3には、ユーザの操作に必要な情報やユーザの操作結果が表示される。また、情報処理装置10は、通信装置7を介して記憶装置9を持つサーバ8と接続されていてもよい。

【0012】記憶装置6または記憶装置9には、図2に示すようなスケジュールデータ15が記録されている。このスケジュールデータ15は、情報処理装置10が複数人で使用される場合、ユーザ単位に識別可能にその複数が記録されていてよく、CPU1は、ユーザ毎にスケジュールデータ15を読み取って表示することができる。ユーザには、個人だけでなく、必要に応じてグループ、作業プロジェクト、施設、設備などを当てることができる。また、情報処理装置10がPDA等の個人使用のものであれば、スケジュールデータ15は、そのユーザのものだけでよい。

【0013】スケジュールデータ15は、日時情報11と、それぞれの日時に予定される作業や約束、メモ等の情報、それらの遂行に必要なデータやデータへのリンク情報等から成る予定情報12とを含んで構成される。予定情報12は、その予定情報12の名称や種別を簡略に表示するためのアイコン等の情報をも含むことができる。

【0014】また、スケジュールデータ15内には、頻繁に予定情報として使用される諸情報を、予定情報の雛形のである作業情報13として含んでいる。そして、ユーザがある作業情報13を日時情報11に含まれる特定の日時の予定として指定すると、CPU1は、作業情報13の複製をその日時の予定情報12として記録する。作業情報13は、名称、アイコン等の作業情報を識別するための表示に必要な情報、作業、約束、メモ等の情報、これらに必要なデータからなる。また、作業情報13には、互いに関連する複数の予定情報とそれぞれの順

序の情報を含めることができる。さらに、作業情報13には、必要であれば主たる予定情報を定めた上で、主たる予定情報の予定日時が記録された時点で他の予定情報が予定として記録されるべき日時を、主たる予定情報に対する相対的な日時情報として含めることができる。また、作業情報13には、場合によって、他の作業情報13を他の予定情報として含めることが可能である。

【0015】スケジュールデータ15内には、必要に応じてその他の情報14を格納しておくことができる。このその他の情報14は、例えば、グループ、プロジェクト等における定期的な会議の予定、その日時等であってよい。

【0016】次に、本発明の実施形態によるスケジュール作成支援に使用される表示画面例を図3、図4を参照して説明する。

【0017】ユーザがスケジュールを格納している情報処理装置10を起動し、スケジュールを表示させるための処理を指定すると、CPU1は、記憶装置6またはサーバ上の記憶装置9に記録されているスケジュールデータ15を読み取り、図3に示すような表示を表示部2に表示する。この例は、表示の単なる一例であり異なる形式であってよい。

【0018】CPU1は、スケジュール表示部30に各日時の予定情報を表示する。図3に示す例は、スケジュール表示部30が、日時を示す表示31、曜日表示33、表示されている年・月を知らせ、あるいは変更するための年月表示32等による一般的な月単位のカレンダー形式の例として示しているが、その他の形式でもかまわない。また、CPU1は、切替部34が操作されると1週単位の形式に、切替部35が操作されると1日の時間単位の形式にスケジュール表示部30の表示形式を切り替える。また、前述した週単位、日単位の表示形式を表示した状態で切替部36が操作されると、CPU1は、月単位のカレンダー形式の表示にスケジュール表示部30の表示形式を切り替える。当然前述した形式以外の表示形式を設けてもよい。

【0019】スケジュール表示部30に図3に示すような月単位のカレンダー形式の表示が行われた場合、CPU1は、ユーザが情報処理装置10を操作している現在を示す現在表示37、休業日を明示する必要がある場合には休業日表示38、祝祭日を明示する必要がある場合には祝祭日表示39を表示する。また、CPU1は、表示が不要な部分を明示する必要がある場合、スケジュール表示部30に不要部分であることを示す表示40を表示する。

【0020】そして、CPU1は、スケジュールデータ15の日時情報11と予定情報12とに応じて、スケジュール表示部30上の各日時に対応した部位に、それぞれの予定情報41を表示する。図3に示す例は、予定情報41を星印のアイコンを付与して表示しているが、こ

れは一例である。

【0021】スケジュールデータ15に含まれている作業情報13は、作業一覧42として個々の作業情報43を識別することができる形式で表示される。作業一覧42には指定した作業情報を削除するための削除ボタン44、新たに作業情報を追加するための追加ボタン45、ユーザが作業一覧42で指定した作業情報46を、ユーザがスケジュール表示部30で指定した日時48に予定として登録する登録ボタン47が付随して設けられている。これらのボタンの機能は、同等の機能呼び出して実行することができるものであれば、ボタン以外の形式で表現されていてもよい。また、スケジュール表示部30とそれに関連する表示、及び、表示作業一覧42とそれに関連する表示は、同一画面あるいは同一ウィンドウに表示されなくてもよい。

【0022】作業情報の追加作成、すでに存在する作業情報の内容変更が指示された場合、CPU1は、図4に示すような画面50を表示する。画面50には、作業情報の名称表示入力領域51と、作業、約束、メモ等の情報、それらの遂行に必要なデータ、該データへのリンク情報等からなる予定情報を入力表示する予定情報領域52とが表示される。また、この画面で操作する作業情報をアイコンで表示するためのアイコン選択領域53が設けられるが、この領域は、必要に応じて設けられればよい。画面50内には、このほか、作業情報を図3により説明した作業一覧42や、予定としてスケジュール表示部30に表示するのに必要な情報があれば、その入力表示のための表示領域を追加してもよい。

【0023】予定情報領域52には、関連する予定情報を入力表示する作業項目一覧54が設けられる。作業項目一覧54は、相対的な日時順に予定情報を入力表示するための欄を持つ。図4に示す例は、作業項目一覧54の欄を日単位として示しているが、時間単位や月単位であってもよい。また、ある欄をより詳細な単位の欄の集合として表示するようにすることも可能である。さらに、予定情報の順序のみを規定したい場合には、順序のみを情報として持つ表示、あるいは、順序を指定しないリストのみの表示に変更することも可能である。

【0024】図4に示す画面50における作業項目一覧54の当日欄55に、ユーザにより予定情報56が、前後日欄57に予定情報58が入力されると、CPU1は、予定情報56を主たる予定情報とし、予定情報58を当日欄55と前後日欄57に示された時間差で予定されるべき予定情報56に関連した予定情報として、作業情報を作成する。また、作業項目一覧54には、前述の欄に予定情報を入力する追加ボタン59、欄に入力されている予定情報を削除する削除ボタン60、欄に入力されている予定情報の詳細を変更するための表示を行う編集ボタン61が付随して設けられている。これらのボタンの機能は、同等の機能呼び出して実行することがで

ければボタン以外の形式で表現されていてもよい。

【0025】また、ユーザは、作業項目一覧54に入力された一連の予定情報に作業名を入力し、その予定情報を表す形状を持ったアイコンをアイコン選択領域53から選択することができる。このようにして入力された作業情報は、図2により説明したスケジュールデータ15の作業情報13の雛形として格納される。

【0026】次に、前述したように構成される本発明の実施形態によるスケジュール作成支援の処理動作のうち、まず、雛形として使用する作業情報を作成する処理動作を、順次表示される画面例を示す図5～図18を参照して説明する。

【0027】図1に示す情報処理装置10が起動され、ユーザがスケジュールを表示させるための処理を指定すると、CPU1は、記憶装置6またはサーバ上の記憶装置9に記録されているスケジュールデータ15を読み取る。そして、CPU1は、図5に示すように、現在を含む期間、図示例ではその月のカレンダーをスケジュール表示部30に表示し、現在を示す現在表示37、休業日を示す休業日表示38、祝祭日を示す祝祭日表示39と不要部分であることを示す表示40とを表示する。また、CPU1は、指定されたユーザの作業情報を作業一覧42として表示する。

【0028】図5に示す表示画面において、ユーザがマウスカーソル100を追加ボタン45に合わせてクリックすると、CPU1は、作業情報を新規に作成するものと判断して、図6に示すような作業情報作成画面50を表示する。ユーザがマウスカーソル100を名称表示入力領域51に合わせてクリックすると、CPU1は、名称表示入力領域51にフォーカスを与える。これにより、名称表示入力領域51に作業名を入力することが可能となり、ユーザは、ここで、例えば、図7に示すように名称表示入力領域51に作業名「業務進捗会議」を入力する。

【0029】その後、ユーザが、図8に示すように、マウスカーソル100をアイコン選択領域53のボタン70に合わせてクリックすると、CPU1は、アイコン一覧71を展開表示する。図9に示すように、ユーザがマウスカーソル100をアイコン一覧71に示された1つのアイコン72に合わせると、CPU1はそのアイコンを強調表示する。ユーザがマウスカーソル100をアイコンに合わせたままクリックすると、CPU1は、図10に示すように、アイコンの一覧71を閉じ、当該アイコンをアイコン選択領域53に表示する。

【0030】そして、ユーザが図10に示す画面でマウスカーソル100を作業項目一覧54の当日欄55に合わせてクリックすると、CPU1は、当日欄55を強調表示する。この状態で図11に示すように、ユーザがマウスカーソル100を追加ボタン59に合わせてクリックすると、図12に示すように、CPU1は、予定情報

入力画面72を表示する。予定情報入力画面72には、その予定名に図7の下面で入力した作業名、図示例では「AAAAAAA」が表示され、その種別が「会議」と表示される。ユーザは、予定名として、作業名の下位の名称として別の名称を入力してもよい。また、ユーザは、種別が誤っている場合、種別の表示領域のボタンをクリックした後にその種別を変更することができる。この変更は、複数の種別を表示して選択させることにより、あるいは、ユーザに種別名を入力させることにより行うことができる。ユーザは、さらに、会議の開催時間、会議に必要な書類等のデータ、メモ等の必要な情報を入力した後に、マウスカーソル100を実行ボタン73に合わせてクリックする。

【0031】前述によりCPU1は、予定情報入力画面72を閉じ、図13に示すように、予定情報入力画面72で入力された諸情報からなる予定情報74を作成し当日欄55に登録して表示する。ここまでの処理により、当日分の予定の入力作業が終了する。

【0032】次に、ユーザが図示しない一定の手順で指示を出すと、CPU1は、図14に示すように、データファイルやフォルダ、アプリケーションソフトウェアのアイコンを表示したウィンドウ75を表示する。ユーザが予定情報とする予定の作業で使用したいデータファイルやフォルダ、アプリケーションソフトウェアのアイコン76、例えば、この例の場合、会議開催通知のアイコンにマウスカーソル100を位置させ、これを、図15に示すように作業項目一覧54の2日前の欄77にドラッグアンドドロップする。

【0033】これにより、図16に示すように、CPU1は、そのアイコンで示されたデータファイルやフォルダ、アプリケーションソフトウェアを使う予定情報78を作成し2日前の欄77に登録し表示する。次に、ユーザが図17に示すように、マウスカーソル100を実行ボタン79に合わせてクリックすると、CPU1は、画面50で入力された諸情報からなる作業情報を作成し、スケジュールデータ15に登録すると共に、図18に示すように、図3により説明した作業一覧42に、前述までの説明で作成した新たな作業情報80を加えて表示する。なお、前述では、主たる予定情報の他に1つの関連する予定情報だけを作成したが、関連する予定情報は、幾つでも作成登録することができる。

【0034】以上の処理により、雛形として使用する作業情報の作成が終了する。そして、前述したような雛形を多数作成してスケジュールデータ15として登録しておく。このようなスケジュールデータの雛形を利用することにより、ユーザは、一連の予定からなるスケジュールを簡単に作成登録することができる。

【0035】次に、前述したようなスケジュールデータの雛形を使用して一連の予定からなるスケジュールを作成する処理動作を、順次表示される画面例を示す図19

～図22を参照して説明する。

【0036】図1に示す情報処理装置10が起動され、ユーザがスケジュールを表示させるための処理を指定すると、CPU1は、記憶装置6またはサーバ上の記憶装置9に登録されているスケジュールデータ15を読み取る。そして、CPU1は、図5により説明したと同様な画面を表示する。ここで、ユーザが、新たにスケジュールを作成するため、マウスカーソル100をスケジュール表示部30上の主たる予定を入れたい日時「25日」81に合わせてクリックすると、CPU1は、図19に示すように、その日時「25日」81が選択されたものとして扱い、選択を示す強調表示82を行う。

【0037】次に、ユーザが、作業一覧42の作業情報の中から、日時「25日」81に予定として入れたい作業情報、例えば、「海外出張」83にマウスカーソル100を合わせてクリックすると、CPU1は、図20に示すように、その作業情報「海外出張」83が選択されたものとして扱い、選択を示す強調表示を行う。さらに、図21に示すように、ユーザがマウスカーソル100に登録ボタン47に合わせてクリックすると、CPU1は、スケジュールデータ15内の作業情報13の中の「海外出張」の雛形を読み出して、作業情報「海外出張」83を主たる予定情報として日時「25日」81の予定情報と共にスケジュールデータ15に登録し、図22に示すように、「海外出張」を予定情報84として、スケジュール表示部30の日時「25日」81の欄に表示する。

【0038】前述した主たる予定情報の登録表示と同時に、CPU1は、スケジュールデータ15内の作業情報13に登録されている主たる予定情報84の前日に実施する予定情報として記録されている予定情報85、例えば、旅費の受領を、日時「24日」の予定情報としてスケジュールデータ15に登録し、これをスケジュール表示部30の日時「24日」86に表示する。

【0039】また、CPU1は、主たる予定情報84の7日前に実施する予定情報として作業情報13内に記録されている予定情報87、例えば、行動予定の詳細な報告書の作成、提示を日時「18日」の予定情報としてスケジュールデータ15に登録し、スケジュール表示部30の日時「18日」88に表示する。さらに、CPU1は、主たる予定情報84の14日前に実施する予定情報として作業情報13内に記録されている予定情報89、例えば、打合せ資料の作成完了を日時「11日」の予定情報としてスケジュールデータ15に登録し、スケジュール表示部30の日時「11日」90に表示する。また、CPU1は、主たる予定情報84の21日前に実施する予定情報として作業情報13内に記録されている予定情報91、例えば、出張伺い書の提出を日時「4日」の予定情報としてスケジュールデータ15に登録し、スケジュール表示部30の日時「4日」92に表示する。

【0040】前述までの処理で、主たる予定情報及びこれに関連する予定情報の入力終了する。なお、CPU1は、スケジュールデータ15として、予定情報84を主たる予定情報とし、予定情報85、予定情報87、予定情報89、予定情報91が主たる予定情報に関連していることも合わせて記録する。

【0041】また、ユーザが、さらに個別の情報を登録したい場合、追加のボタンをマウスカーソルによりクリックすることにより、追加する個別の予定情報を希望する日時に登録することができ、さらに、各予定情報に個別のメモ等のデータを入力して登録することができ、あるいは、主たる予定情報に関連する予定情報を他の日時に移動させる等の処理を行うことができる。

【0042】前述した処理において、CPU1は、主たる予定情報に関連する作業情報13内に記録されている予定情報が休日等に当たる場合、後述する例で説明するように、その予定情報をその前後に移して登録し表示させる。

【0043】次に、前述した処理により作成登録したスケジュールをスケジュールデータから削除する処理動作を、表示される画面例を示す図23、図24を参照して説明する。

【0044】図1に示す情報処理装置10が起動され、ユーザがスケジュールを表示させるための処理を指定すると、CPU1は、記憶装置6またはサーバ上の記憶装置9に記録されているスケジュールデータ15を読み取る。そして、CPU1は、図5により説明したと同様な画面を表示する。ここで、ユーザが、海外出張のスケジュールを表示させるため、マウスカーソル100を作業一覧42の「海外出張」に合わせてクリックすると、前述のスケジュール作成登録の処理で作成した海外出張のスケジュールがスケジュール表示部30内に表示される。この状態で、ユーザが、マウスカーソル100をスケジュール表示部30上の主たる予定情報84に合わせてクリックすると、CPU1は、図23に示すように、その日時「25日」81の主たる予定情報84が選択されたものとして扱い、選択を示す強調表示101を行う。

【0045】日時「25日」81の主たる予定情報84である「海外出張」の予定を削除するため、ユーザがキーボードの削除キーを操作し、あるいは、作業一覧の削除ボタンにマウスカーソルに合わせてクリックすると、CPU1は、その予定情報84をスケジュールデータ15の日時「25日」の予定情報から削除し、スケジュール表示部30の日時「25日」81の表示からも削除する。また、CPU1は、スケジュールデータ15から予定情報84を主たる予定情報として、この予定情報に関連する予定情報として登録されている予定情報85、予定情報87、予定情報89、予定情報91を読み取る。

【0046】CPU1は、主たる予定情報84を失った

関連する予定情報85を、スケジュールデータ15の日時「24日」の予定情報から削除し、スケジュール表示部30の日時「24日」86の表示からも削除し、同様に、予定情報87をスケジュールデータ15の日時「18日」の予定情報から削除し、スケジュール表示部30の日時「18日」88の表示からも削除する。また、CPU1は、主たる予定情報84を失った予定情報89を、スケジュールデータ15の日時「11日」の予定情報から削除し、スケジュール表示部30の日時「11日」90の表示からも削除し、同様に、予定情報91をスケジュールデータ15の日時「4日」の予定情報から削除し、スケジュール表示部30の日時「4日」92の表示からも削除する。

【0047】前述により、ユーザは、一旦作成して登録した一連のスケジュールを、主たる予定を削除する指示を行うだけで、関連する他の予定情報をも削除することができる。

【0048】次に、前述したようなスケジュールデータの雛形を使用して一連の予定からなるスケジュールを作成する処理動作の他の例を、順次表示される画面例を示す図25～図28を参照して説明する。

【0049】図1に示す情報処理装置10が起動され、ユーザがスケジュールを表示させるための処理を指定すると、CPU1は、記憶装置6またはサーバ上の記憶装置9に記録されているスケジュールデータ15を読み取る。そして、CPU1は、図5により説明したと同様な画面を表示する。ここで、ユーザが、新たにスケジュールを作成するため、マウスカーソル100をスケジュール表示部30上の主たる予定を入りたい日時「21日」101に合わせてクリックすると、CPU1は、図25に示すように、その日時「21日」101が選択されたものとして扱い、選択を示す強調表示102を行う。

【0050】次に、ユーザが、作業一覧42の作業情報の中から、日時「21日」101に予定として入れたい作業情報「海外出張」83にマウスカーソル100を合わせてクリックすると、CPU1は、図26に示すように、その作業情報「海外出張」83が選択されたものとして扱い、選択を示す強調表示を行う。さらに、図27に示すように、ユーザがマウスカーソル100を登録ボタン47に合わせてクリックすると、CPU1は、スケジュールデータ15内の作業情報13の中の「海外出張」の雛形を読み出して、作業情報「海外出張」83を主たる予定情報として日時「21日」101の予定情報としてスケジュールデータ15に記録し、図28に示すように、「海外出張」を予定情報84として、スケジュール表示部30の日時「21日」101の欄に表示する。

【0051】前述した主たる予定情報の登録表示と同時に、CPU1は、スケジュールデータ15内の作業情報13に記録されている主たる予定情報84の前日に実施

する予定情報として記録されている予定情報 85、例えば、旅費の受領を、日時「20日」の予定情報としてスケジュールデータ 15 に記録しようとする。しかし、CPU 1 は、日時「20日」102 が休業日となっているため、予定情報 85 を直前の休業日でない日時「18日」の予定情報としてスケジュールデータ 15 に記録し、スケジュール表示部 30 の日時「18日」103 に表示する。

【0052】また、CPU 1 は、主たる予定情報 84 の 7 日前に実施する予定情報として作業情報 13 内に記録されている予定情報 87、例えば、行動予定の詳細な報告書の作成、提示を日時「14日」の予定情報としてスケジュールデータ 15 に記録し、スケジュール表示部 30 の日時「14日」104 に表示する。さらに、CPU 1 は、主たる予定情報 84 の 14 日前に実施する予定情報として作業情報 13 内に記録されている予定情報 89、例えば、打合せ資料の作成完了を日時「7日」の予定情報としてスケジュールデータ 15 に記録し、スケジュール表示部 30 の日時「7日」105 に表示する。また、CPU 1 は、主たる予定情報 84 の 21 日前に実施する予定情報として作業情報 13 内に記録されている予定情報 91、例えば、出張伺い書の提出を予定情報としてスケジュールデータ 15 に記録しようとする。しかし、この場合、該当する日時が現在を示す現在表示 37 のある日時「2日」より以前になってしまうため、CPU 1 は、この予定情報 91 を日時「2日」の予定情報としてスケジュールデータ 15 に記録し、スケジュール表示部 30 の日時「2日」106 に表示する。

【0053】前述までの処理で、主たる予定情報及びこれに関連する予定情報の入力が終了する。なお、CPU 1 は、スケジュールデータ 15 として、予定情報 84 を主たる予定情報として予定情報 85、予定情報 87、予定情報 89、予定情報 91 が関連していることも合わせて記録する。

【0054】次に、前述した処理により作成登録した雛形としての作業情報をスケジュールデータから削除する処理動作を、順次表示される画面例を示す図 29～図 31 を参照して説明する。

【0055】図 1 に示す情報処理装置 10 が起動され、ユーザがスケジュールを表示させるための処理を指定すると、CPU 1 は、記憶装置 6 またはサーバ上の記憶装置 9 に記録されているスケジュールデータ 15 を読み取る。そして、CPU 1 は、図 5 に示すように、現在を含む期間、図示例ではその月のカレンダーをスケジュール表示部 30 に表示し、現在を示す現在表示 37、休業日を示す休業日表示 38、祝祭日を示す祝祭日表示 39 と不要部分であることを示す表示 40 とを表示する。また、CPU 1 は、指定されたユーザの作業情報を作業一覧 42 として表示する。ここで、図 29 に示すように、ユーザが、作業一覧 42 の作業情報の中から、削除

したい作業情報「業務進捗会議」108 にマウスカーソル 100 を合わせてクリックすると、CPU 1 は、その作業情報「業務進捗会議」108 を選択されたものとして扱い、選択を示す強調表示を行う。

【0056】この状態で、図 30 に示すように、ユーザがマウスカーソル 100 を削除ボタン 44 に合わせてクリックすると、図 31 に示すように、CPU 1 は、その作業情報「業務進捗会議」108 をスケジュールデータ 15 の作業情報 13 から削除し、作業一覧 42 の作業情報の表示からも削除する。

【0057】前述した本発明の実施形態によれば、従来、定型的な作業を予定として登録する場合、その作業のために実施される複数の事項それぞれを別々の予定として個々にスケジュールへの登録を行わなくてはならず、ユーザの操作回数が多く、ユーザに多くの操作負担をかけていた作業を 1 回の登録作業で済ませることができ、ユーザの作業料の大幅な低減を図ることができる。

【0058】すなわち、前述した本発明の実施形態によれば、複数の一連事項からなるスケジュールの作成作業を、その作業のために必要な複数の事項の、実施内容、実施順序、実施の時間間隔、及び、実施の際に使用するデータと共に予め雛形として記録しておくことにより、予定としてのスケジュールの作成、登録を行う際に、日時の情報のみ調整した上で、雛形を使用することによりスケジュールすべき複数の事項を一括して予定として登録することができ、ユーザの操作にかかる負担を低減することができる。

【0059】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、一連の定型的な予定をスケジュールする作業を、日時の情報のみを調整した上で、全ての予定を一括してスケジュールし、予定として登録することができ、スケジュール作成のためのユーザの負担を低減することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の一実施形態によるスケジュール作成の支援を行う情報処理装置の構成を示すブロック図である。

【図 2】記憶装置内に格納されているスケジュールデータの構成を説明する図である。

【図 3】スケジュールを表示させた場合の表示画面の例を説明する図である。

【図 4】作業情報の追加作成、作業情報の内容変更の場合の表示画面の例を説明する図である。

【図 5】雛形として使用する作業情報を作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図 6】雛形として使用する作業情報を作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図 7】雛形として使用する作業情報を作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図 8】雛形として使用する作業情報を作成する処理動

作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図9】 雛形として使用する作業情報を作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図10】 雛形として使用する作業情報を作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図11】 雛形として使用する作業情報を作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図12】 雛形として使用する作業情報を作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図13】 雛形として使用する作業情報を作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図14】 雛形として使用する作業情報を作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図15】 雛形として使用する作業情報を作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図16】 雛形として使用する作業情報を作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図17】 雛形として使用する作業情報を作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図18】 雛形として使用する作業情報を作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図19】 スケジュールデータの雛形を使用して一連の予定からなるスケジュールを作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

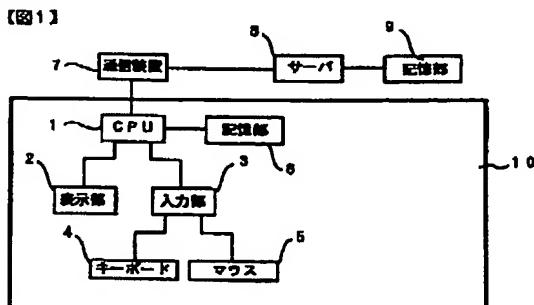
【図20】 スケジュールデータの雛形を使用して一連の予定からなるスケジュールを作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図21】 スケジュールデータの雛形を使用して一連の予定からなるスケジュールを作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図22】 スケジュールデータの雛形を使用して一連の予定からなるスケジュールを作成する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図23】 すでに作成登録したスケジュールをスケジュールデータから削除する処理動作を説明する画面例を示す

【図1】



*す図である。

【図24】 すでに作成登録したスケジュールをスケジュールデータから削除する処理動作を説明する画面例を示す図である。

【図25】 スケジュールデータの雛形を使用して一連の予定からなるスケジュールを作成する処理動作の他の例を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図26】 スケジュールデータの雛形を使用して一連の予定からなるスケジュールを作成する処理動作の他の例を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図27】 スケジュールデータの雛形を使用して一連の予定からなるスケジュールを作成する処理動作の他の例を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図28】 スケジュールデータの雛形を使用して一連の予定からなるスケジュールを作成する処理動作の他の例を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図29】 雛形としての作業情報をスケジュールデータから削除する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

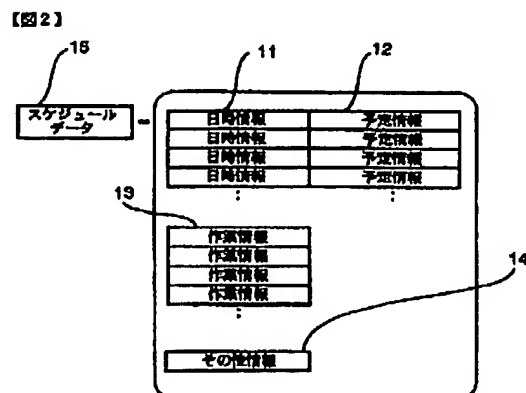
【図30】 雛形としての作業情報をスケジュールデータから削除する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【図31】 雛形としての作業情報をスケジュールデータから削除する処理動作を説明する順次表示される画面例を示す図である。

【符号の説明】

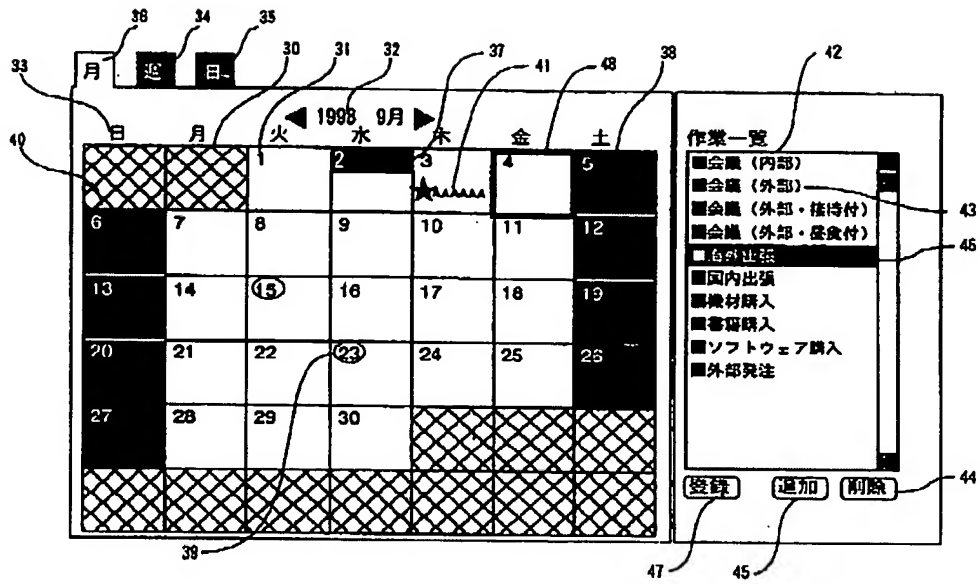
- 1 CPU
- 2 表示部
- 3 入力部
- 4 キーボード
- 5 マウス
- 6、9 記憶装置
- 7 通信装置
- 8 サーバ
- 10 情報処理装置

【図2】



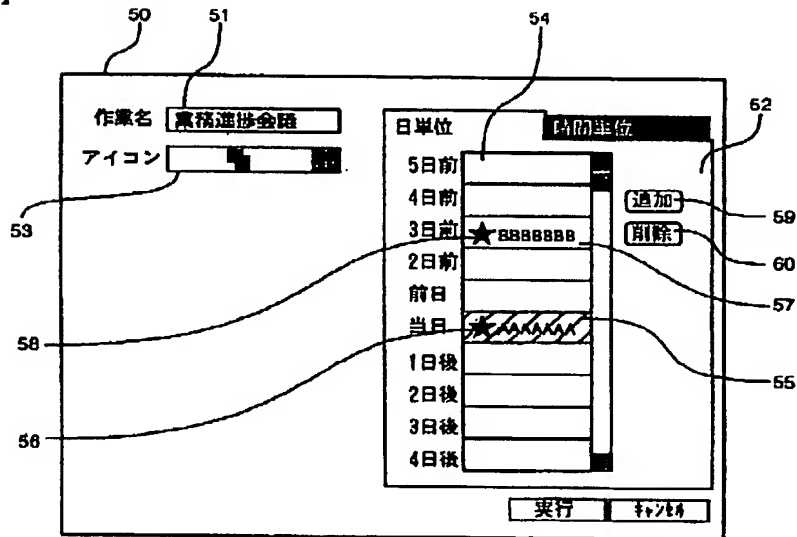
【図3】

【図3】

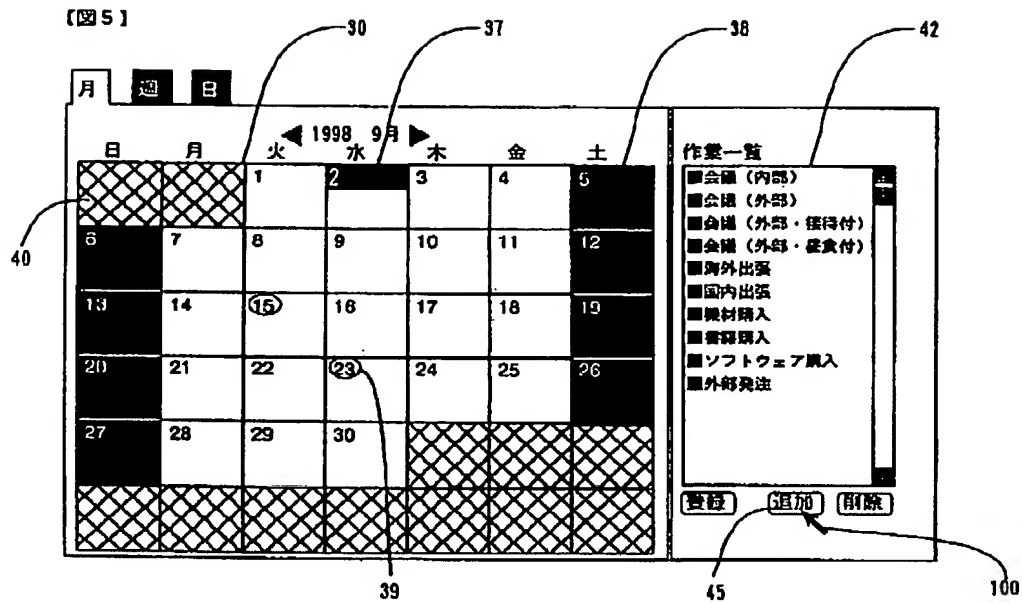


【図4】

【図4】

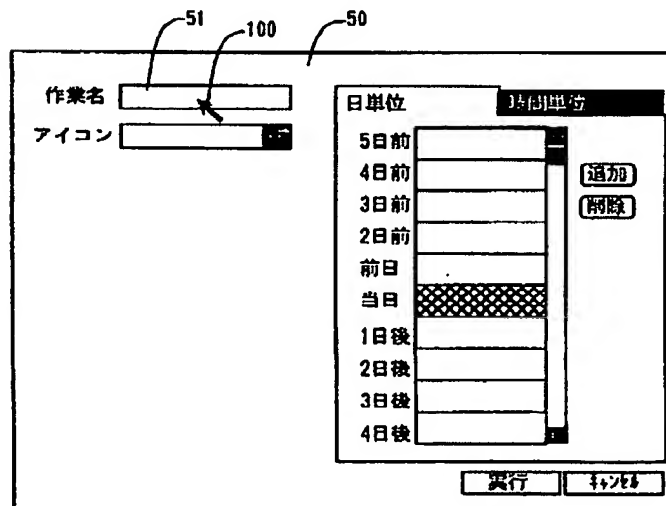


【図5】



【図6】

【図6】



【図7】

【図7】

作業名 **業務進捗会議**

アイコン

日単位 時間単位

5日前	
4日前	
3日前	
2日前	
前日	
当日	■
1日後	
2日後	
3日後	
4日後	

追加
削除

実行 キャンセル

【図8】

【図8】

作業名 **業務進捗会議**

アイコン

日単位 時間単位

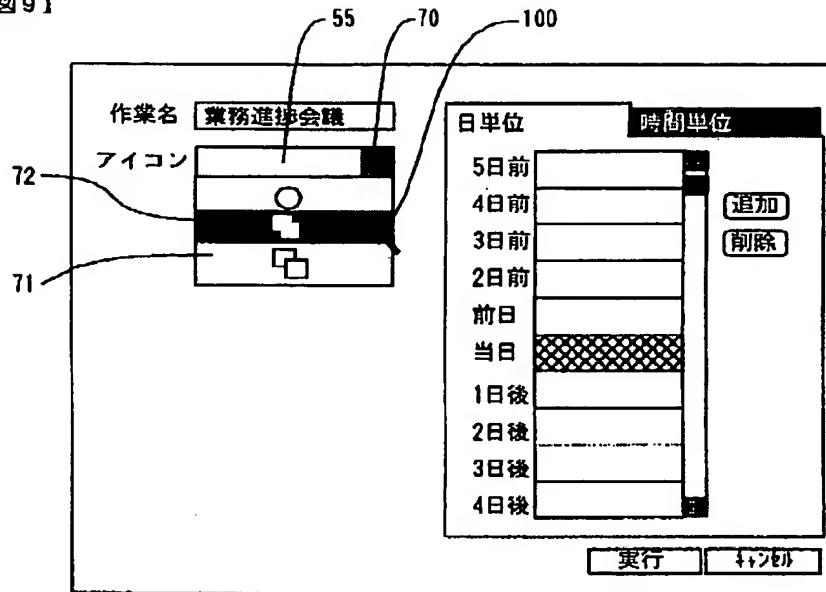
5日前	
4日前	
3日前	
2日前	
前日	
当日	■
1日後	
2日後	
3日後	
4日後	

追加
削除

実行 キャンセル

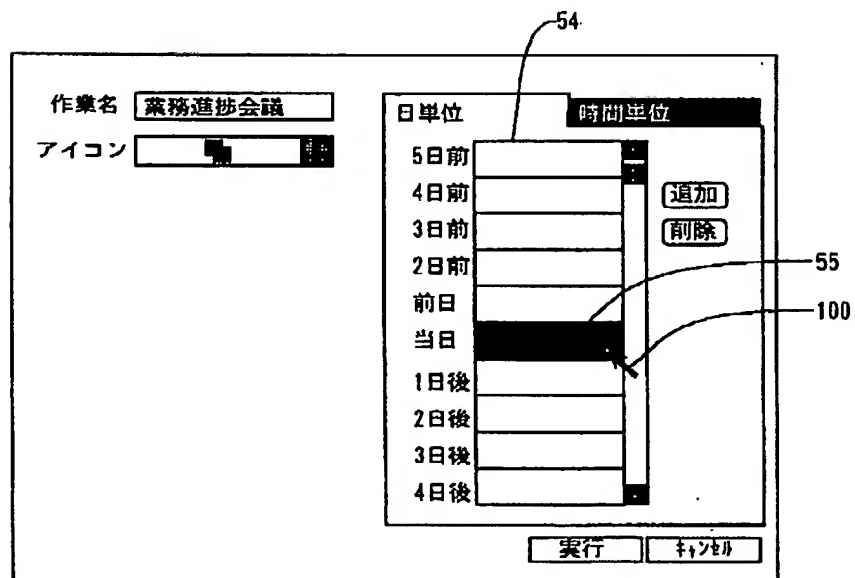
【図9】

【図9】



【図10】

【図10】



【図11】

【図11】

作業名 業務進捗会議
アイコン

日単位 時間単位

5日前
4日前
3日前
2日前
前日
当日
1日後
2日後
3日後
4日後

追加
削除

実行 キャンセル

59
100
55

【図12】

【図12】

作業名 業務進捗会議
アイコン

日単位 時間単位

5日前
4日前

追加

予約名 AAAAAAA 種別 会議

時間 10:00 - 12:00

メモ

データ AAAAAAA

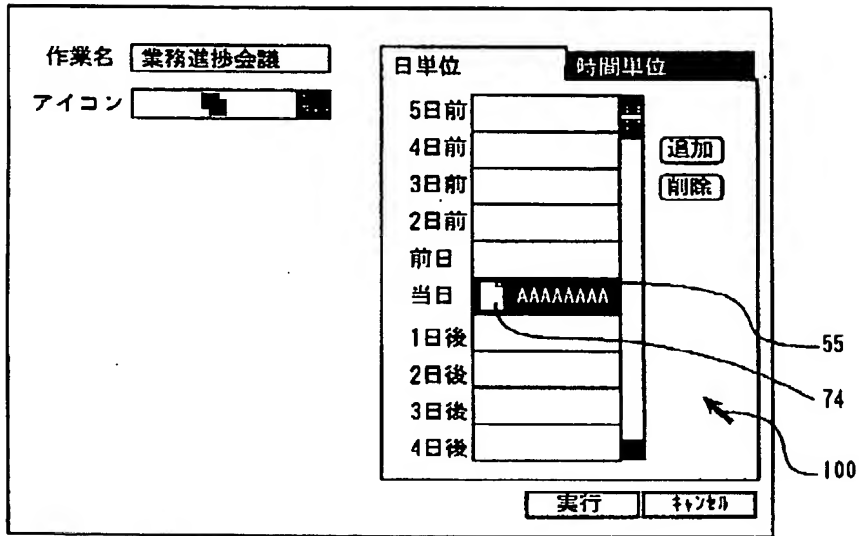
参照

実行 キャンセル

72
73
100

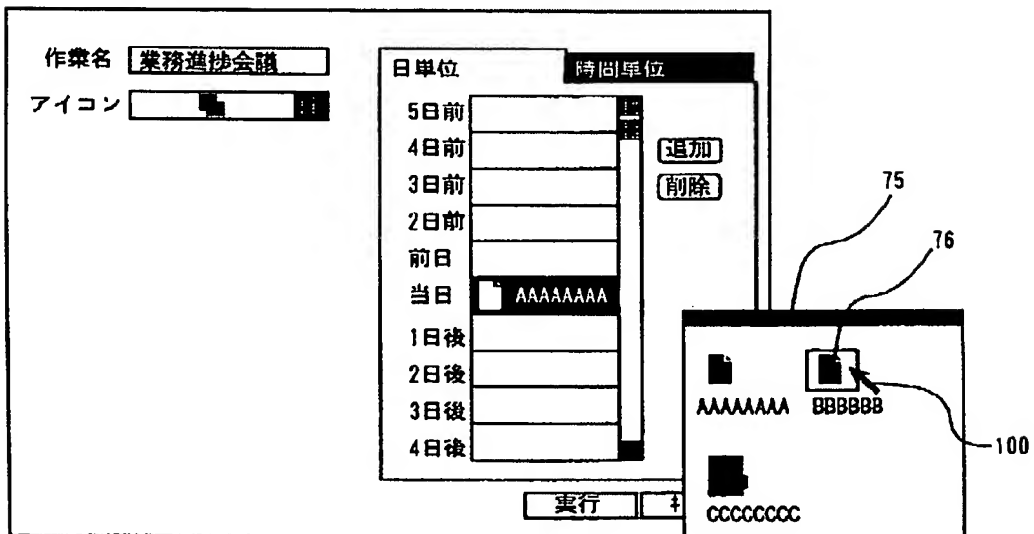
【図13】

【図13】

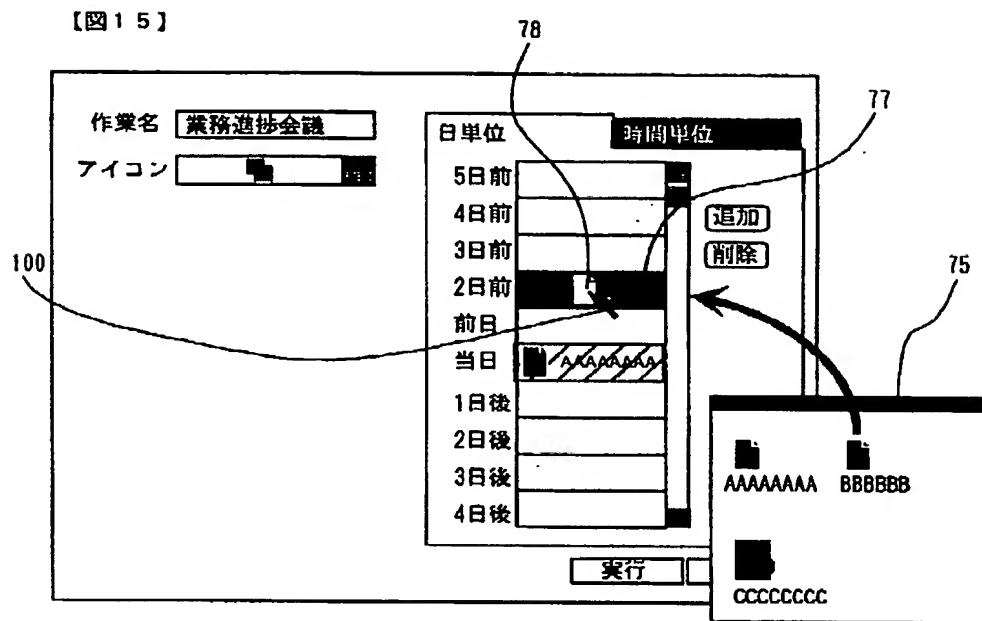


【図14】

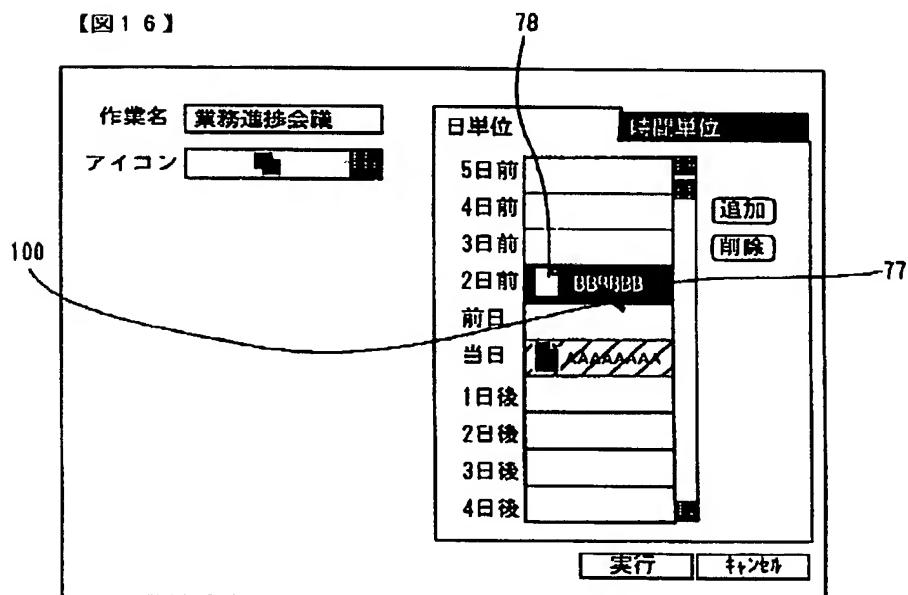
【図14】



【図15】



【図16】



【図17】

【図17】

作業名 **業務進捗会議**

アイコン

日単位 時間単位

5日前
4日前
3日前
2日前 **08:00:00**
前日
当日
1日後
2日後
3日後
4日後

実行 キャンセル

79 100

【図18】

【図18】

月 日

1998 9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

作業一覧

- 会議 (内部)
- 会議 (外部)
- 会議 (外部・接待付)
- 会議 (外部・昼食付)
- 海外出張
- 国内出張
- 機材購入
- 書籍購入
- ソフトウェア購入
- 外部発注
- **業務進捗会議**

登録 **追加** **削除**

80 100

【図19】

【図19】

月 週 日

1988 9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

作業一覧

- 会議（内部）
- 会議（外部）
- 会議（外部・接待付）
- 会議（外部・昼食付）
- 海外出張
- 国内出張
- 機材購入
- 書籍購入
- ソフトウェア購入
- 外部発注
- 業務提携会議

登録 追加 削除

100

【図20】

【図20】

月 週 日

1988 9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

作業一覧

- 会議（内部）
- 会議（外部）
- 会議（外部・接待付）
- 会議（外部・昼食付）
- 海外出張
- 国内出張
- 機材購入
- 書籍購入
- ソフトウェア購入
- 外部発注
- 業務提携会議

登録 追加 削除

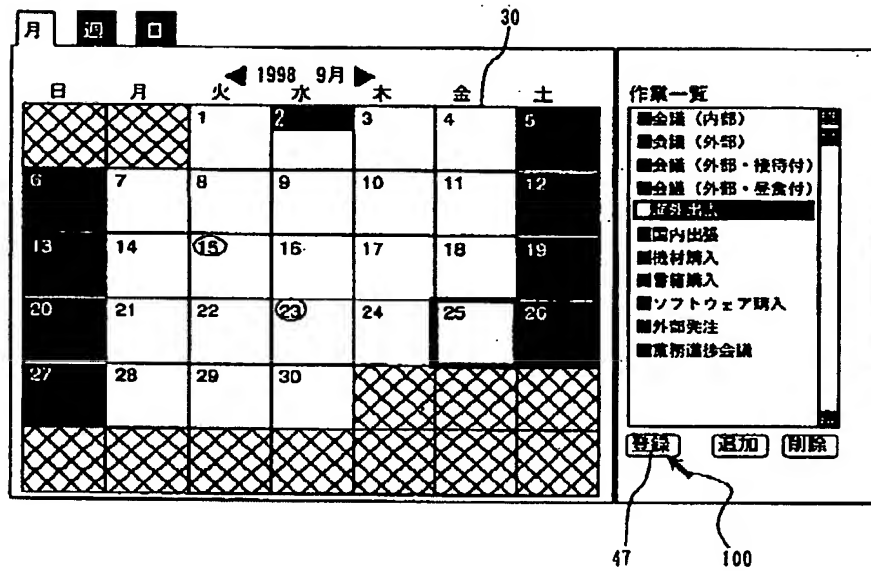
100

42

83

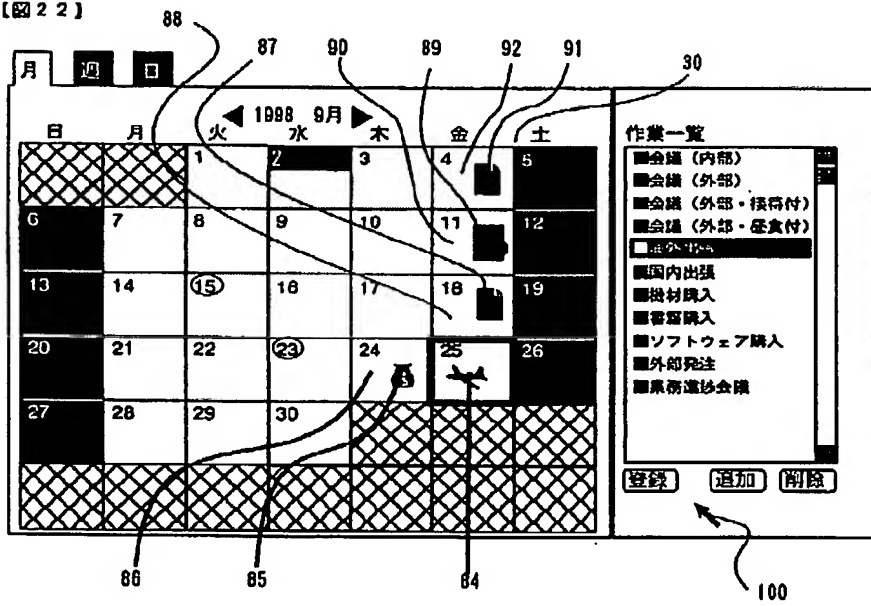
【図21】

【図21】

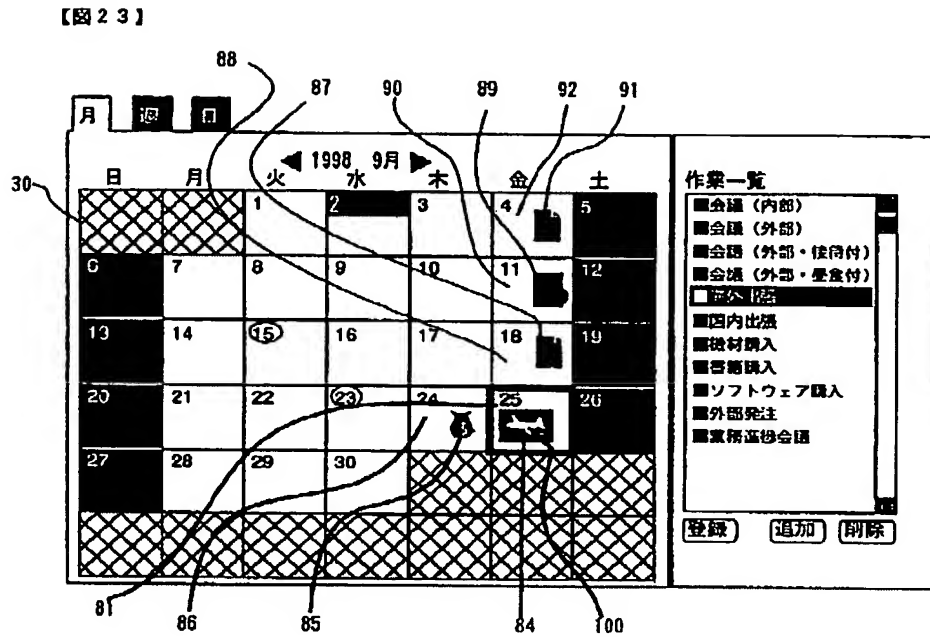


【図22】

【図22】

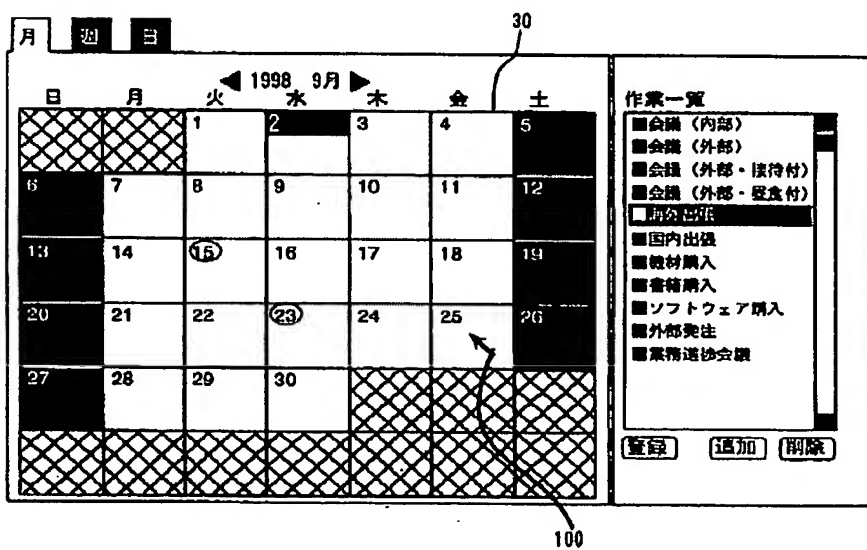


【図23】



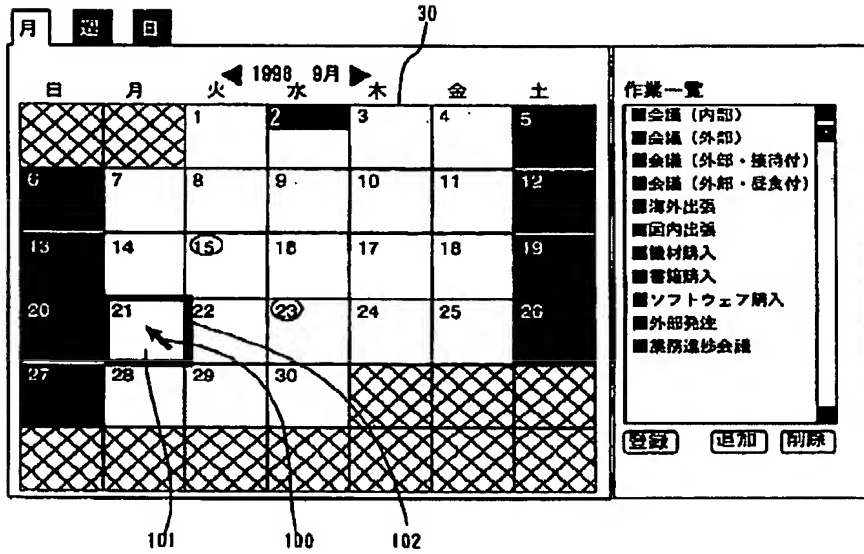
【図24】

【図24】



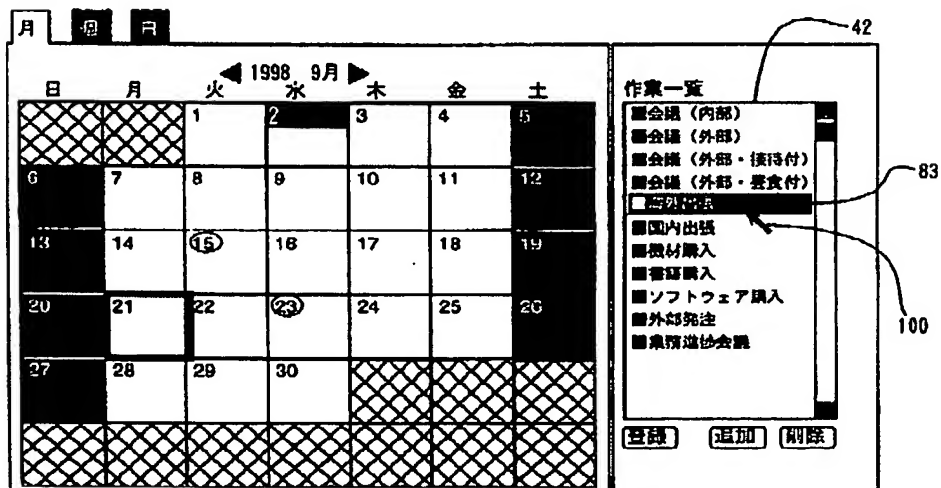
【図25】

【図25】



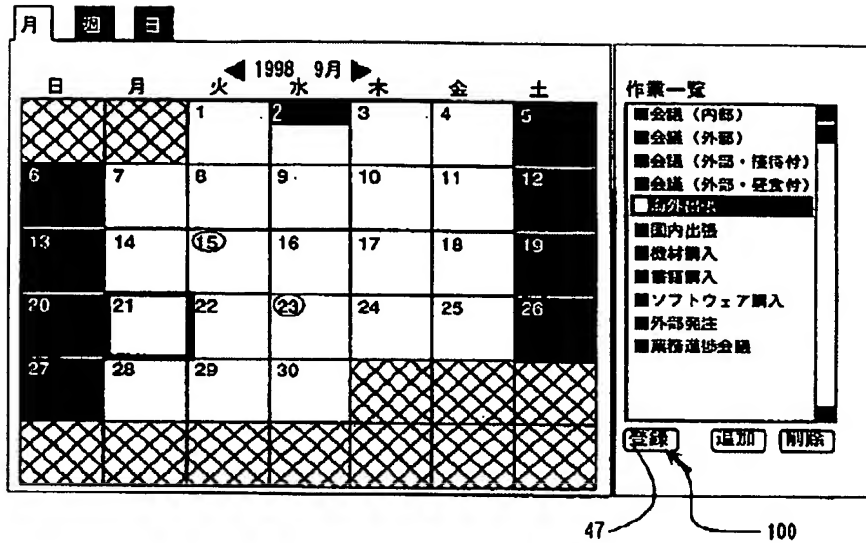
【図26】

【図26】



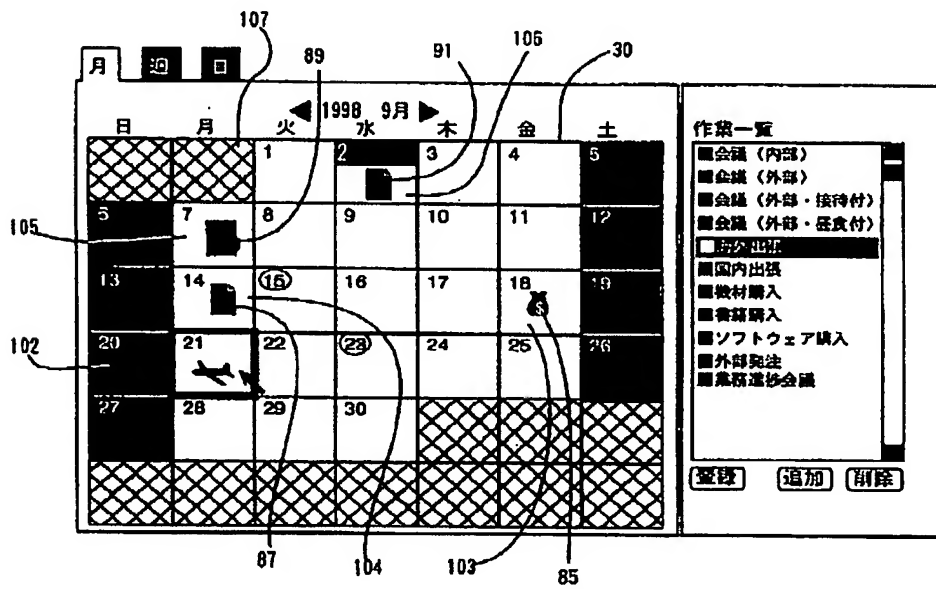
【図27】

【図27】



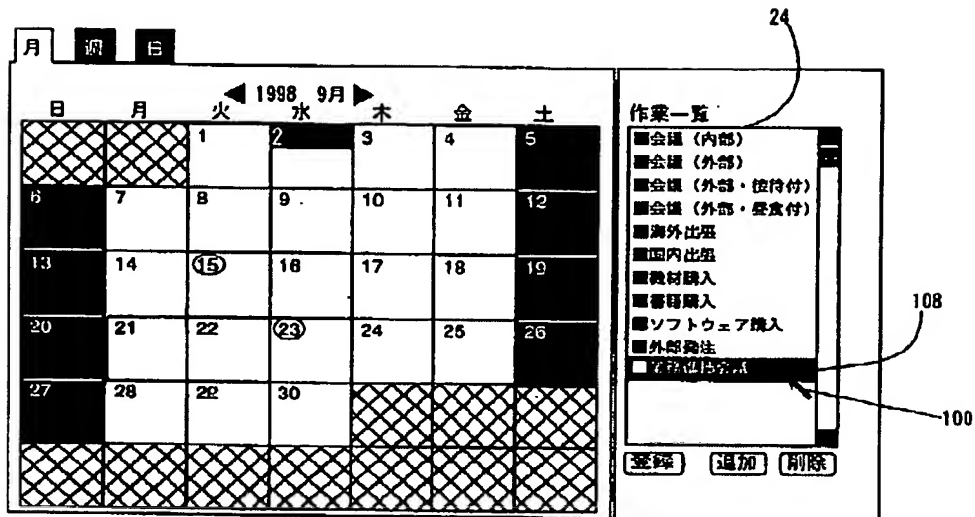
【図28】

【図28】



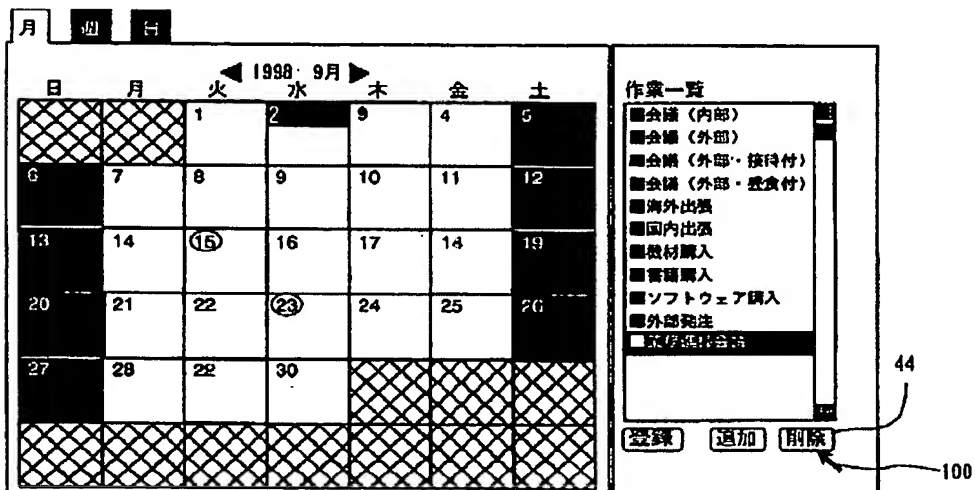
【図29】

【図29】



【図30】

【図30】



【図31】

【図31】

月 日 5

◀ 1998 9月 ▶

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	(15)	16	17	18	19
20	21	22	(23)	24	25	26
27	28	29	30			

作業一覧

- 会議（内部）
- 会議（外部）
- 会議（外部・接待付）
- 会議（外部・昼食付）
- 海外出張
- 国内出張
- 教材購入
- 書籍購入
- ソフトウェア購入
- 外部発注

登録 追加 削除

24

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ BLACK BORDERS

☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

☐ FADED TEXT OR DRAWING

☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

☐ SKEWED/SLANTED IMAGES

☒ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

☐ GRAY SCALE DOCUMENTS

☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.